

平成30年度第2回印西市文化財審議会会議録

1. 開催日時 平成31年3月12日（火）午後2時～午後3時50分
2. 開催場所 印西市役所 41会議室
3. 出席者 武藤委員、滋賀委員、横山委員、高橋委員、西山委員
4. 欠席者 一島委員、岡崎委員、酒井委員、富田委員
5. 傍聴者 1名（定員5名）
6. 事務局 生涯学習課 飯島課長、坂巻、野口
7. 会議内容（すべて公開）
 1. 開会
 2. 課長あいさつ
 3. 議題
 - （1）平成30年度事業報告について
 - （2）平成31年度事業計画（案）について
 - （3）その他
 4. 報告
 - （1）道作1号墳の発掘調査について
 5. その他
 6. 閉会

8. 会議録

1及び2 開会、課長あいさつ

3. 議事

- （1）平成30年度事業報告について

《事務局説明》

資料をもとに平成30年度事業報告を説明

《委員意見》

委員：指定文化財パンフレットが、見やすくできていて良いと思う。

委員：民具はどこの部署で収集しているのか？民具収集は地域住民との関係性が大切である。地域の文化資産を確認する連絡員等はあるのか？連絡員が相談に乗ったりして、民具や古文書の散逸を防ぐことができる。

⇒民具は、原則、印旛歴史民俗資料館で収集している。連絡員はいないが、まずは、市民に地域の文化財に興味を持ってもらうことが大切であると考えている。

委員：民具は、いつどのように使用していたかの状況を把握することが大切である。どこにでもあるものは、なくなりやすい。

委員：市指定の建造物が1件もない。市内には江戸期の建物は現存していないのか？
⇒建造物の把握を行っていない。国登録有形文化財が1件ある。

委員：先ほど、連絡員の話があったが、市民学芸員や友の会のような制度があるところは、その人たちが市内を回って貴重なものを発見したり、企画展を行ったりしている。袖ヶ浦市が参考になる。
⇒参考にしたい。

委員：民具は場所を取る。空き教室等を利用して民具を展示し、実際に触ったり使ったりしているところもある。

委員：子どもたちに文化財に興味を持ってもらうことも大切だろう。

委員：吉岡家の蔵では、近くの木下小学校の児童が学習で来てくれる。古い建物は、所有者が「他人に見せるほどのものではない…」と思っていることも多い。興味がないのかもしれない。

委員：建造物は、屋根の葺き替え等にお金がかかり、維持管理が大変である。市でも補助金を交付するなどして支援していく必要があるだろう。
⇒指定文化財の修繕等には補助金制度がある。

会長：他に意見がなければ、平成30年度事業報告について承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手 平成30年度事業報告承認

(2) 平成31年度事業計画(案)について

《事務局説明》

資料をもとに平成31年度事業計画(案)を説明

《委員意見》

委員：文化財防災訓練では、仏像の運び出しをするのか？
⇒ダミーを使って運び出しの訓練をする予定である。

委員：埋蔵文化財調査に関して、小規模開発の件数と種類は例年どのくらいか？

⇒10件程度である。個人住宅や駐車場等の開発が多い。

委員：開発地区はニュータウンか？

⇒ニュータウン地区は、開発に伴い埋蔵文化財調査が終了しているため、既存地区である。

委員：現在、行われている獅子舞や神楽は、時間の都合等により動きが省略されていたり、順番が変わっている。本来の姿を記録しておいた方が良いと思う。

⇒20年くらい前に映像記録は撮っているが、これからも聞き取り調査等をしていきたい。

委員：議題(1)で資料収集の話が出たが、近現代美術品の情報収集については、ボランティアやサポーター等の地域の情報が収集につながっている。

⇒有効な情報として参考にしたい。

委員：考古分野では、報告書刊行等の成果が上がっている。建築や美術史の専門家もいると良いと思う。

⇒考古専門職の人員要望はしているが、今後は専門職も多様性が求められると思っている。

委員：地域の行事や神事は残していきたいが、誰が継続していくのかを新旧住民で考えていってほしい。

会長：他に意見がなければ、平成31年度事業計画（案）について承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手 平成31年度事業計画（案）承認

（3）その他

特になし

4. 報告

（1）道作1号墳発掘調査について

資料をもとに調査の概要及び成果を説明

5. その他

特になし

6. 閉会

会議資料

次第、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画（案）、道作1号墳現地説明会資料、道作1号墳ファイバースコープ調査による石棺内部写真

平成30年度第2回印西市文化財審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成31年3月28日

印西市文化財審議会委員

横山 謙次